

発見! 市民活動ナビ No.6

岡市民連携推進課 ☎43-9207

地域で受け継がれてきた
伝統工芸を伝えていく!

「なんぶ民藝」

南部地方に伝わる伝統工芸品の普及・保存、国内外への情報発信を行い、自身も南部菱刺しの作家である
NPO法人なんぶ民藝の代表 山田友子^{やまだ ともこ}さんにお話を伺いました。

南部地方の工芸品のいま

八戸を中心とする南部地方には、八幡馬や南部姫^{ひめまり}毬など古くから伝わる工芸品が多くあります。中でも南部菱刺しや南部裂織は、寒い冬を乗り越えるための工夫から生まれ、この地域だからこそ受け継がれてきた実用的な工芸品です。こうした工芸品は、海外でも注目を集めています。

青森県の取り組みの一環として、昨年1月にフランス・パリで開催された国際見本市に職人の一人として参加した際には、多くの人が南部地方の工芸品に興味を持っている様子を肌で感じ、海外から見ても貴重な文化であることを実感しました。



団体の紹介

昔から受け継がれてきた南部地方の工芸品ですが、後継者不足や工芸従事者の組織化がされていないことから、次世代への継承がスムーズではないなどの課題があります。

そこで、NPO法人なんぶ民藝では、伝統工芸の体験会の開催や国内外に向けての情報発信など、保護・保存、普及活動に取り組んでおり、特に工芸従事者の組織化により南部地域の工芸を底上げすることに力を入れています。また、敷居が高く思われがちな工芸品を身近に感じてもらえるように、ショルダーバッグの肩ひもに菱刺しをあしらったり、古い布を裂いてかぎ針で編む(裂き編み)鍋敷きを制作したりと、新しい作品作りにも取り組んでいます。



市民の皆さんへのPR

なんぶ民藝ではさまざまなイベントを開催しています。12月6日(金)には、裂き編み、菱刺し、くすみ樹皮ブローチ作りの体験会をはっちで行います。また、当日は八戸工業大学感性デザイン学科の学生の作品展示もあります。どちらも参加無料・お申し込み不要ですので、お気軽にご参加ください!(お問い合わせは下記メールアドレスまで)

工芸品を作っていると自分の世界に没頭することができ、達成感を味わえるのも魅力の一つです。この機会に南部地方の工芸品の魅力を体験してみませんか?

岡山田 友子(なんぶ民藝 代表)
✉ tsuzureya@gmail.com



Instagram

